

高池の虫喰岩

虫喰岩は高池にある高さ 60m の岩です。虫喰岩は蜂の巣のような穴（タフォニ）で覆われています。地元の伝承によると魔物が岩の塊を食べたとされています。修験道の行者が伝える別の話では、大きな蜂が穴を開けたと言われています。現代の地質学者はこの模様を、岩層の間に形成された塩の結晶によって促進された侵食によるものとしています。

1400 万年前に発生した地下の大きなマグマだまりの爆発の残骸で、爆発後に直径 40km 以上の丸い凹地が残りました。このマグマは冷却されて固まり、岩が縦 22km 幅 800m 連なり、今では古座川弧状岩脈と呼ばれています。

虫喰岩の下の方には神社が建っています。地元の伝承によると、穴の空いた小石に願掛けして神社の中に置くと、耳の病気が治ると言われています。車ですぐの場所にある牡丹岩も古座川弧状岩脈の一部で、同じように珍しい穴だらけの構造をしています。名前は頂上近くの岩層が牡丹に似ていたことに由来します。